

官報

號外 昭和十四年三月三日

○第七十四回帝國議會衆議院議事速記錄第十九號

昭和十四年三月二日(木曜日)

午後一時十二分開議

議事日程 第十八號

昭和十四年三月二日

午後一時開議

第一 決議案(農林漁業ノ生産増進ニ關スル件)(町田忠治君外八十三名提出)

第二 國債整理基金特別會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第三 明治三十九年法律第三十四號中改正法律案(國債ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會

第四 明治四十二年法律第九號中改正法律案(政府ニ對スル保證金其ノ他ノ擔保ニ供シタル國債ノ買入銷却ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會

第五 產金法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第六 地方鐵道法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第七 軌道法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第八 恩給法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第九 花柳病豫防法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十 寺院等ニ無償ニテ貸付シアル國有財産ノ處分ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十一 郵便年金法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十二 裁判所構成法改正法律案(野田文一郎君外二十六名提出) 第一讀會

第十三 檢察廳法案(野田文一郎君外二十六名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
國債整理基金特別會計法中改正法律案
明治三十九年法律第三十四號中改正法律案(國債ニ關スル件)

明治四十二年法律第九號中改正法律案(政府ニ對スル保證金其ノ他ノ擔保ニ供シタル國債ノ買入銷却ニ關スル件)
(以上二月二十八日提出)

產金法中改正法律案

地方鐵道法中改正法律案

恩給法中改正法律案

(以上三月一日提出)

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
家畜傳染病豫防法中改正法律案

提出者 伊禮 肇君

乳幼児保健局設置ニ關スル建議案

提出者 山崎 常吉君

決議案(農林漁業ノ生産増進ニ關スル件)

提出者

町田 忠治君

堤 康次郎君

手代木隆吉君

作田高太郎君

依 孫一君

岡本實太郎君

篠原 陸朗君

內藤 正剛君

小山倉之助君

勝 正憲君

島田 俊雄君

堀切善兵衛君

鈴木 英雄君

土倉 宗明君

松山常次郎君

原 惣兵衛君

松野 鶴平君

牧野 賤男君

賴母木桂吉君

小泉又次郎君

櫻井兵五郎君

平野 光雄君

添田敬一郎君

岡田喜久治君

池田 秀雄君

武知 勇記君

松田 正一君

鳩山 一郎君

中島知久平君

横川 重次君

高橋熊次郎君

大口 喜六君

岡田 忠彦君

宮脇 長吉君

原口初太郎君

宮崎 一君

木下成太郎君

加藤 知正君

服部 岩吉君

宮澤 裕君

清瀨規矩雄君

安達 謙藏君

望月 圭介君

內田 信也君

窪井 義道君

石坂 繁君

森 肇君

飯村 五郎君

平野 力三君

守屋 榮夫君

麻生 久君

河上丈太郎君

片山 哲君

三輪 壽壯君

田万 清臣君

松方幸次郎君

今井 新造君

三木 武夫君

由谷 義治君

杉浦 武雄君

(以上二月二十八日提出)

公證人法中改正法律案

提出者

穴吹坂出間坂本丸龜間及法勤寺普通寺間

省營自動車運轉開始ニ關スル建議案

提出者

中野 治介君

志賀和多利君

深澤豐太郎君

若宮 貞夫君

西岡竹次郎君

砂田 重政君

秋田 清君

山崎達之輔君

青木 精一君

赤松 克麿君

中野 寅吉君

伊豆 富人君

藤本 捨助君

井阪 豐光君

安部 磯雄君

杉山元治郎君

龜井貫一郎君

淺沼稻次郎君

河野 密君

須永 好君

椎尾 辨匠君

道家齊一郎君

中野 正剛君

大石 大君

田中 養達君

船舶職員法改正ニ關スル建議案

提出者

米窪 滿亮君 岡崎 憲君

(以上三月一日提出)

一昨一日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

(第二號)昭和十三年度歳入歳出總豫算追加案

(特第一號)昭和十三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

軍用自動車検査法案

一去二十八日平沼内閣總理大臣ヨリ左ノ通發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

商工書記官 山本 茂

第七十四回帝國議會商工省所管事務政府委員被仰付

一去二十八日常任委員理事補關選舉ノ結果左ノ如シ

建議委員

理事 中野 寅吉君(委員永山忠則君

去二十八日理事辭任ニ付其ノ

補關)

一去二十八日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル

常任委員左ノ如シ

第八部選出豫算委員 田中 亮一君

一去二十八日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

酪農業調整法案(政府提出)委員

田中 万逸君 池田 清秋君

深澤 吉平君 坂下仙一郎君

篠原 陸朗君 小林 三郎君

内藤 守正君 藤生安太郎君

鹽川 正藏君 河野 一郎君

吉植 庄亮君 小笠原八十美君

松尾 孝之君 立川 平君

永山 忠則君 北 勝太郎君

野溝 勝君 小田 榮君

明治三十五年法律第四十九號中改正法律案(國勢調査ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)委員

西田 郁平君 齋藤 直橋君

中崎 俊秀君 高橋 泰雄君

中野 治介君 丸山辨三郎君

一ノ瀬俊民君 山崎 常吉君

塚本 重藏君

一去二十八日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

國境取締法案(政府提出)委員

辭任野溝 勝君 補關淺沼稻次郎君

昭和十二年法律第五十七號中改正法律案(鐵ノ輸入税免除ニ關スル件)(政府提出)外一件委員

辭任野口 喜一君 補關名川 侃市君

一昨一日平沼内閣總理大臣ヨリ左ノ通發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

內務書記官 三好 重夫

第七十四回帝國議會內務省所管事務政府委員被仰付

一昨一日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任

委員左ノ如シ

第三部選出豫算委員 西方 利馬君

第八部選出建議委員 山田 清君

一昨一日常任委員補關選舉ノ結果左ノ如シ

第八部選出 豫算委員 增永 元也君(田中亮一君

一昨一日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

酪農業調整法案(政府提出)委員

委員長 田中 万逸君

理事 池田 清秋君 深澤 吉平君

藤生安太郎君 鹽川 正藏君

明治三十五年法律第四十九號中改正法律案(國勢調査ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)委員

委員長 高橋 泰雄君

理事 西田 郁平君 中野 治介君

一昨一日特別委員理事補關選舉ノ結果左ノ如シ

青年學校教育費國庫補助法案(政府提出)委員

理事 岡田喜久治君(理事武知勇記君

昨一日委員辭任ニ付其ノ補關)

一昨一日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

酪農業調整法案(政府提出)委員

辭任立川 平君 補關沖島 鎌三君

青年學校教育費國庫補助法案(政府提出)委員

辭任武知 勇記君 補關岡田喜久治君

昭和十二年法律第五十七號中改正法律案

(鐵ノ輸入税免除ニ關スル件)(政府提出)外一件委員

辭任原 玉重君 補關武知 勇記君

國境取締法案(政府提出)委員

辭任石坂 繁君 補關長谷 長次君

朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)委員

辭任岩瀨 亮君 補關小林 絹治君

○議長(小山松壽君) 是ヨリ會議ヲ開キマ

ス、此ノ際陸軍大臣ヨリ枚方陸軍倉庫被害

ニ關シ報告ノ爲發言ヲ求メラレテ居リマス、

之ヲ許シマス——陸軍大臣板垣征四郎君

(國務大臣板垣征四郎君登壇)

○國務大臣(板垣征四郎君) 昨一日午後大

阪府下枚方倉庫ガ爆發致シマシテ、倉庫ト

共ニ附近部落ノ類焼ヲ見マシタコトハ、

聖戰遂行ノ途上ニ於キマシテ洵ニ遺憾ニ堪

ヘマセヌ、目下詳細ナル狀況ノ調査中デア

リマスガ、只今マデ判明シマシタル被害ノ

狀況ニ付テ概況ヲ申上ゲマス、發火ノ原因

ニ付キマシテハ未ダ明瞭ニナツテ居リマセ

スガ、枚方陸軍倉庫ニ於テ作業中火藥ガ爆

發シタコトニ起因スルモノト思ハレマシテ、

午後二時四十五分彈藥庫ヨリ出火シ、逐次

爆發、折柄ノ強風ノ爲枚方陸軍倉庫ノ大部

ヲ烏有ニ歸シ、引續キ附近部落ニ延燒シ、

二日午前三時頃鎮火致シタ模様デアリマス

ガ、目下判明シタル枚方、禁野、中ノ宮、

山垣内等ノ燒失家屋ハ全燒約八百、半燒約

百戸デアリマス、又現在判明致シマシタ所

デハ、陸軍關係ニ於テ死者六名、重輕傷者約五十名デアリマスガ、尙ホ若干ノ死傷アル見込デアリマス、地方側ノ死傷ハ目下判明セルモノハ死者十名、重傷者三十二名、輕傷者約四百四十名デアリマス、救護並ニ警護ニ關シマシテハ第四師團ヨリ歩兵約一大隊、工兵一中隊、第十六師團ヨリ工兵一中隊、外ニ憲兵並ニ救護班ヲ派遣シ、又大阪府、京都府ヨリ警官千二百名、消防官二百五十名、救護班七十班ヲ派遣セラレ、ソレゾレ警備、消防、救護ニ任ジテ居リマス、陸軍中央部ト致シマシテハ、次官以下關係諸官ヲ現地ニ急派シ、善處セシメ、萬遺憾ナキヲ期シテ居ル次第デアリマス、作戰ニハ別段影響ハゴザイマセス、茲ニ此度ノ事故ヲ遺憾トシ、不幸ナル罹災者ニ對シ深厚ナル弔意ヲ表シマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 日程第一、決議案ヲ議題ト致シマス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——提出者高橋熊次郎君

第一 決議案(農林漁業ノ生産増進ニ關スル件)(町田忠治君外八十三名提出)

決議案

農林漁業ノ生産ヲ増進シ國民生活ノ安定ヲ期スルハ長期聖戰對應ノ絕對的要務ナリ

政府ハ速ニ重要農林水産物ノ生産増進ニ關シ生産資材ノ供給、勞働力ノ調整、生産物價格ノ適正並農山漁村部落實行團體

ヲ整備強化セシムル等適當ナル施設ヲ徹底シ以テ聖戰目的ノ達成上萬遺憾ナキヲ期スヘシ

右決議ス

(高橋熊次郎君登壇)

○高橋熊次郎君 只今議題ニ供セラレマシタ各派議員ノ共同提案ニ係リマスル農林漁業ノ生産増進ニ關スル決議案ノ趣旨ニ付キ、發言ヲ致ス次第デアリマス、先ヅ念ノ爲決議案ノ案文ヲ朗讀サセテ戴キマス

決議

農林漁業ノ生産ヲ増進シ國民生活ノ安定ヲ期スルハ長期聖戰對應ノ絕對的要務ナリ
政府ハ速ニ重要農林水産物ノ生産増進ニ關シ生産資材ノ供給、勞働力ノ調整、生産物價格ノ適正並農山漁村部落實行團體ヲ整備強化セシムル等適當ナル施設ヲ徹底シ以テ聖戰目的ノ達成上萬遺憾ナキヲ期スヘシ

右決議ス

是ガ案文デアリマス、現下ノ重大時局ニ際シマシテハ、軍需並ニ國民生活必需品其ノ他貿易物資ノ増産ヲ圖リマシテ、其ノ供給ヲ確保シナケレバナラヌコトハ申スマデモゴザイマセス、工業關係物資ニ付キマシテハ、物動計畫ニ伴フ生産擴充計畫ガ樹立セラレマシテ、是ガ實行ニ一歩ヲ進メツツアルノデアリマス、然ルニ農林水産物ノ供給確保ニ關シマシテハ、政府ニ其ノ熱意ト經綸トノ見レキモノガマリマセヌ(拍手)吾

人ハ深ク之ヲ遺憾トスルモノデアリマス、軍需物資ノ供給ヲ確保スベキハ敢テ申スマデモアリマセス、勿論ノコトデアリマス、加之今日糧食ニ不安ナキノ故ヲ以テ晏如タルガ如キハ、絕對ニ許スベカラザルモノガアルノデアリマス(拍手)將來進シテ食糧其ノ他國民生活必需品ノ供給ヲ確保致シマシテ、國民生活ノ安定ヲ庶幾スルコトヲ必要ト致スノデアリマス、更ニ輸入物資ノ自給化ヲ圖リ、生絲、茶、其ノ他ノ輸出農産物ノ増進ニ努メマシテ、以テ國際收支ノ均衡ヲ保持スルハ、最モ緊急ノコトニ屬スルノデアリマス(拍手)蓋シ重要農産物ノ生産増進ヲ圖リ、其ノ供給ニ遺憾ナキヲ期スルハ、長期聖戰ノ目的達成ノ爲ニ國家當面ノ急務デゴザイマス(拍手)

「ソ聯政府ノ意ヲ承ケテ出版サレタ或ル出版物ノ中ニ、次ノヤウナコトガ書イテアリマス」

「開戰第一年ニ農村方面カラ百五十万人ヲ動員スルデアラウ、商工方面カラ動員サレル約五十万人モ、農村方面カラ補充サレネバナライカラ、結局農村ニハ二百万人ノ勞働人口ヲ失フ、日本ノ農村成年人口ハ一千九百万人デアルカラ、其ノ一〇%強デアル、特ニ減少サレルモノハ優秀ナル勞働力デアルカラ、農業生産ニ對スル影響ハ、此ノ「パーセント」以上ニ重大デアル、機械ノ利用乏シク、全ク人間勞力ニ依存スル日本ノ農業ニ取リテ、勞働力ノ減退ハ重大ナル打撃デアツテ、極ク少ク見テモ、開戰第一年ニ、農業生産ノ減退率ハ一〇%ヲ

下ルコトハナイ、米ニ於テ百万噸、其ノ他之ニ準ズベキモノト思フ、戰局ノ發展ト共ニ益、生産ハ減退シ、歐洲大戰當時ニ於ケル獨逸、佛蘭西以上ニ農業物資ノ不足ヲ來シ、開戰第三年ニハ食糧不足ノ爲ニ戰鬪力ヲ失フニ至ルデアラウ」ト言ツテ居リマス、御承知ノ通り歐洲大戰當時、第三年目ニ於テ獨逸ハ三割七分、佛蘭西ハ四割二分ノ農業生産ノ減退ヲ來シテ、言語ニ絶スルガ如キ苦境ニ陥ツタノデアリマス、我國ハ今ヤ支那事變第三年ヲ迎ヘマシタ、併シナガラ「獨佛以上」ノ苦境ニ立ツデアラウ、戰鬪力ヲ失フデアラウ」ト考ヘタ論者ニ、我國ノ今日ノ姿ヲ目ノアタリ見セテヤリタイモノデアリマス、畢竟スルニ彼等ハ我國ノ崇高ナル農民精神、世界ニ比類ナキ我國ノ農業ノ特質、農村ノ美風、之ヲ見逃シテ居ルノデアルカラ、斯ル誤算ヲ來スノデアリマシテ(拍手)吾々農村ニ於ケル勞働力ノ減退ハ、重大ナル打撃デアリマス、併シナガラ其ノ難局ヲ突破スル底力ヲ我が農業ハ持つテ居リ、斷ジテ歐米人ノ想像スルガ如ク農業生産ノ減退ヲ來スガ如キコトハナイモノト確信致スノデアリマス(拍手)

併シナガラ諸君、「ソ聯」論者ノ述ブル所モ餘リニ認識不足デアリマスケレドモ、現内閣ノ態度ニ對シテハ吾々ハ大ナル不満ヲ感ゼザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)農林漁業生産ノ維持増進ニ關シ何等積極的施設ヲ講ジヨウトシテハ居ナイノデアリマス、農業生産ノ前途ニ對シ全ク之ヲ樂觀シ、成

行ニ委セテ置イテ心配ガナイト考ヘテ居ルノデアリカ、政府ニ何等ノ經緯ナク、此ノ難局ニ對處スベキ方策ヲ知ラナイノデアリカ(拍手)ト吾人ハ怪シムノデアリマス、吾人ハ必ズシモ悲觀論ヲ爲ス者デアリマセヌ、併シナガラ食糧其ノ他ノ重要農産物、林産物、水産物ノ供給確保ガ、戰爭遂行上極メテ重大性ヲ持ツテ居ルコトヲ考ヘマストキ、斷ジテ無爲無策ニシテ生産ノ維持増進ニ關シ何等積極性ヲ有シナイ政府ノ施設ハ、満足スルコトガ出来ナイノデアリマス(拍手)

惟フニ事變下ニアツテ農山漁村ニ勞働力ノ減退ヲ來スノハ、蓋シ已ムヲ得ザルコトデアリマセウ、而シテ此ノ必然的情勢ノ下ニ於テ生産増進ニ邁進セントスル所ニ、戰時農村對策ノ苦心ハ存シテ居リマス、最モ周到ナル用意ヲ必要トスル所以デアリマス、即チ農業生産力維持増進ニ必要ナル人的資源ノ確保ヲ期センガ爲ニハ、工業勞働力ノ吸收ニ關シ、一地方ニ集中セシメザル等、適當ナル統制方策ヲ講ゼナケレバナラス、即チ工業用勞働者ノ募集等ニ當ツテハ、地方ノ情勢ヲ能ク考慮致シテ、一地方ニ偏在セザルヤウナ用意ト工夫ヲ要スルモノト考ヘルノデアリマス(拍手)勞働力調整ノ徹底ヲ期サナケレバナリマセヌ、如何ニ數字のニハ農村勞働ハ尙ホ餘裕ガアリマシテモ、地方々々ニ依ツテ季節的勞働ノ大ナル拂底ヲ來スノデアリマス、是等ノ調整ヲ圖ルニハ、相當遠距離ノ部落ニ於ケル團體的移動

モ之ヲ獎勵シ、此ノヤウナ施設ニ對シテ相當ノ助成方策ヲ講ゼナケレバナリナイト思フノデアリマシテ、是等モ併セテ此ノ問題ニ付テ、考慮スベキモノナリト考フルノデアリマス、生産計畫具體案ヲ速ニ定メマシテ、作付準備前ニ各農家ニ周知セシムルコトガ必要ト思フノデアリマス、又農業報國精神ノ昂揚、即チ一死報國ノ信念ヲ以テ將兵諸士ガ戰線ニ於テ活躍サレルト同じ心掛ヲ以テ、少クモ農村ノ青少年ハ農業ニ勵ミ得ルヤウニ仕向ケルト云フ事等ガ、最モ肝要デナイカト思フノデアリマス(拍手)

特ニ第一線の生産増進ノ實踐機關デアリマスル所ノ、農村部落ノ各種實行團體ノ機構ヲ強化致シマシテ、其ノ活動ヲ促進スベキ適當ナル方策ヲ講ゼナケレバナラスト思フノデアリマス(拍手)唯監督官廳、上級産業團體ノミノ指導監督其ノ他ノ施設ニ依リマシタノミデハ、是等方策實現ノ徹底ヲ期スルコトハ出来マセヌカラ、基礎團體デアリ各部落ニ於ケル所ノ實行團體ノ機構ヲ更ニ強化シ、之ヲ整備シ、強力ナル活動ヲ期セシメナケレバナラスト思フノデアリマス(拍手)又農村ニ於ケル勞働力ハ獨リ其ノ數的減少ニ止リマセズ、質的低下ノ甚シキモノガアルノデアリマス、之ヲ強化スルニハ、ドウシテモ指導員ノ活動ニ俟クナケレバナラスノデアリマスケレドモ、農村ノ指導員ハ其ノ待遇ガ惠マレテ居リマセヌ、又其ノ位置モ不安ナノデアリマスルカラ、由來此ノ方面ニ安定

ヲ缺イテ居ツタノデアリマスルガ、事變以來大陸進出計畫等ノ漸次進行致スニ伴ヒマシテ、優秀ニシテ健全ナル是等分子ノ多クハ、外地ニ向ヒツツアルノデアリマシテ、一層其ノ機能ガ薄弱化セントシツツアル今日デアリマスカラ、産業指導施設ノ充實徹底ト云フコトニハ、特ニ意ヲ用ヒナケレバナラスト思フノデアリマス

各國ニ於ケル百「エーカー」約六十町步當リノ扶養ヲ要スル人口ノ割合、即チ要扶養人口ト云フモノハ、御承知置キノ通りニ米國ニ於テハ百五人、佛蘭西ニ於テハ百九十五人、獨逸ハ三百二十一人、而シテ我國ハ實ニ一千四百四十人デアリマス、隨テ我國ニ於テキマシテハ、反當收穫ノ増大ヲ期セナケレバナリマセヌ、隨テ勞力ニ集約的ナルト共ニ肥料ニ集約的ナルコトハ、本邦農業ノ特色デアリマシテ、肥料ニ依存スルコト我國農業ノ如キハ、全ク他ニ其ノ比ヲ見ザル所デアリマス、殊ニ昨年度ニ於テハ施肥量ノ減ジマシタルト、天候ノ關係等ニ因リマシテ、土壤ハ著シク瘠薄ヲ來シ、今年ハ特ニ施肥量ノ増大ヲ必要トスル實情ニアリマス、然ルニ政府ハ需要期ノ目前ニ差迫レル春肥料ニ對スル手當サヘモ未ダ調ベテ居リマセヌ、今年度ノ需給ニ關シ全ク其ノ見透シガ立タナイノデハナイカト、甚ダ不安状態ニ放置サレテ居リマシテ(拍手)農業者ヲシテ徒ニ焦眉痛心セシメツツアリマスルコトハ、現時局下ニ於テ許シ難キ怠慢トモ思ハレルノデアリマス(拍手)政府ハ

速ニ肥料供給確保ニ關スル方途ヲ講ジ、更ニ配給制度ノ確立ト共ニ價格ノ適正ヲ圖リ、肥料對策ニ遺憾ナキヲ期セナケレバナリマセヌ(拍手)其ノ他農林漁業用資財ノ供給ヲ確保シ、其ノ配給統制ヲ強化シ、生産増進施設及ビ減損防止施設ノ強化徹底ニ努メ、農産物ト農用購入品トノ價格ノ均衡ヲ保持セシメ、農林關係團體ノ活動促進ヲ圖ルナド、重要農林水産物ノ増産ニ關シ、萬全ノ方策ヲ講ゼナケレバナラスト思惟スル者デアリマス(拍手)以上本案ノ趣旨トシテ簡潔ニ申述ベタノデアリマス、政府ニ於テキマシテハ宜シク決議ノ趣旨ニ鑑ミラレマシテ、猛省一番、本案趣旨ノ徹底ニ努力セラレンコトヲ望ム次第デアリマス、滿堂諸君ノ御贊同ヲ得タイト希望致シマス(拍手)

○議長(小山松壽) 是ヨリ討論ニ入りマス、通告順ニ依リ發言ヲ許シマス——村上國吉君

(村上國吉君登壇)

○村上國吉君 私ハ立憲民政黨ヲ代表致シマシテ、此ノ決議案ニ賛成ノ意ヲ表スルト共ニ、其ノ賛成ニ付テ吾々ノ意ノアル所ヲ申述ベタイト存ズルノデアリマス、長期聖戰下ノ此ノ重大ナル時局ニ際シマシテ、農林、漁業ノ生産ヲ増進シ、其ノ供給ヲ確保スルコトノ絕對的必要ナルコトハ論ヲ俟タナイ所デアリマシテ、要ハ如何ニスレバ其ノ目的ヲ達シ得ルカノ一點ニ、總テガ懸ツテ居ルト思フノデアリマス、前席ニ於テキマシテ高橋君ハ其ノ提案理由ノ説明ニ當

リマシテ、政府ニ之ニ對スル熱意經綸ノ見
ルベキモノガナイト申サレマシタガ、此ノ
點ニ付キマシテハ私ハ聊カ所見ヲ異ニ致シ
マス（拍手）併シ同時ニ私ハ茲ニ政府ノ其ノ
政策ヲ若干檢討スル必要ガアルト思フノデ
アリマス

政府ニ於キマシテハ此ノ長期戰ニ對應ス
ル爲ニ、農林水産物ノ生産ニ付テソレノ
増産ノ計畫ヲ持ツテ居ルノデアリマス、即
チ中ニハ三年計畫ノモノモアレバ、五箇年
計畫ノモノモアリ、七箇年計畫ノモノモア
リマスルガ、要スルニ食料作物、家畜、林
産、水産等ノ全般ニ互ツテ一定ノ目標ヲ立
テ、計畫的ニ其ノ増産ヲ期シテ居ルノデア
リマシテ、昭和十四年度ノ計畫ニ付テ見マ
シテモ、米ノ四百萬石、小麥ノ百萬石ノ増
産、繭ノ八千五百萬貫ノ生産、甘藷ノ二億
萬貫、木炭ノ一億萬貫ノ増産ト云フガ如
キ、ソレノ計畫ヲ持ツテ居ルノデアリ
マスガ、平常時ナラバ兎モ角、サナキダニ
資材勞力等ノ生産資源ノ供給ニ、相當大ナ
ル不自由ヲ感ジテ居ル此ノ事變下ニ於キマ
シテ、却テ其ノ生産ヲ増加セントスルノデ
アリマスルカラ、政府ガ此ノ計畫ヲ實行セ
ントスルニ當リマシテハ、中々容易ナ業デ
ハナイト思フノデアリマス、ソレモ唯今年
ダケト云フノデアリマスナラバ、又其ノ途
ナキニシモアラズト考ヘラレマスケレド
モ、生産資源、特ニ勞力ノ如キ、事變ノ續
ク限り年々其ノ供給ガ減少スルデアラウト
考ヘラレマス、他ノ一商ニ於テハ其ノ生産

ハ斷ジテ後退シテハナラヌ、否、益々前進セ
シメナケレバナラヌノデアリマスカラ、
ソコニ非常ナル困難ガ伴フコトヲ覺悟セネ
バナラヌト思フノデアリマス

政府ハ此ノ事變ニ備ヘル爲ノ對策トシテ、
昨年農林省ニ臨時農村對策部ヲ設ケ、其ノ
下ニ計畫課外二課ヲ置イテ對策本部ノ陣容
ヲ整ヘ、昭和十四年度ノ豫算ニハ甚ダ貧弱
ナガラ臨時農村對策施設費ヲ計上シテ、之
ニ備ヘテ居ルノデアリマス、又曩ニハ農村
經濟更生中央委員會ヲ改組擴大致シマシテ、
新ニ農林計畫委員會ヲ組織シ、更ニ近クハ
道府縣市町村ニ互ル經濟更生委員會ニ、中
央同様ニ生産計畫部、肥料配給統制部、生
産資材統制部、勞力調整部ヲ設置セシメマ
シテ、生産ノ計畫的増産、肥料其ノ他資材
ノ配給、勞働力ノ調整ニ當ラシムル等、生
産ノ増加ニ關シマシテ相當ニ周到ナル用意
ト心構ヲ以テ、之ニ臨ンデ居ルノデアリマ
ス、斯クテ一應中央地方ヲ通ジタル長期戰
對應ノ陣形ハ整ツタ觀ハアリマス、併シナ
ガラ實際其ノ生産ニ當ル所ノ業者達ヲシテ
能ク政府ノ意ヲ諒承シ、其ノ計畫ニ參加
シ、各ノ生産分野ニ於テ進ンデ其ノ増産ヲ
分擔スル氣分ニナラシムル用意アリヤト言
ヘバ、甚ダ心細イ感ガアツテ、斯クテハ如
何ニ政府ガ其ノ陣頭ニ立ツテ大聲疾呼、號
令ヲ致シマシテモ、遂ニ十分ナル效果ヲ收
ムルニ至ラズシテ終ルナキヤヲ、吾々ハ憂
慮シテ居ルノデアリマス
此ノ事變以來農山漁村ノ部落及ビ其ノ部落

ニアル所ノ各種ノ團體ハ、銃後ノ奉仕ニ於
キマシテ、犧牲奉公ノ誠意ヲ捧ゲ、多大ナ
ル負擔ト勞苦ヲ忍ビ、能ク努力致シマシ
タ、農林水産物ノ生産ガ事變前ト異ナルコ
トナク、克ク今日アル所以ハ全ク其ノ努力
ニ依ルモノト思ハナケレバナリマセヌ、併
シナガラ今日ノ農山漁村ハ其ノ生産ニ關シ
マシテ、相當疲勞ノ色アルコトヲ否ミ得ナ
イノデアリマス、吾々ハ我が農村組織ノ現
狀ニ於キマシテハ、是モ亦洵ニ無理カラヌ
コトデアルト思フデアリマス、然ルニ今又
此ノ農山漁村ヲシテ、茲ニ更ニ大量ノ増産
ヲ致サシメントスルノデアリマスカラ、如
何ニスレバ、彼等ガ其ノ負擔ニ堪ヘ得ルデ
アラウカニ付テ、吾々ハ深く檢討スルノ必
要アルコトヲ、痛感セザルヲ得ナイノデア
リマス

事變勃發以來政府ハ農山漁村對策ニ努力
シ、種々生産維持ノ施設ヲ行ツテ居ルノデ
アリマスガ、其ノ爲ス所ヲ見マスト、其ノ
施設ノ對象トスル所ハ常ニ町村以上ノ上部
機關デアリマシテ、殊ニ官廳ノ強化擴充ニ
關スルモノデアリマシテ、實際生産ニ携リ
ツツアル所ノ下部組織ノ力ヲ強化シ、之ヲ
活動セシムル方策ニ至ツテハ、殆ド見ルベ
キモノガアリマセヌ（拍手）而モ此ノ下部組
織ヲ動カシ、之ヲ働カセルノデナケレバ、生
産ノ維持ハ次第ニ困難ニナルノデアリマシ
テ、今日ノ農山漁村ガ其ノ生産ニ於テ多少
トモ疲勞ノ色ヲ現ハスニ至ツタノハ、主ト
シテ其ノ結果デアルト思フノデアリマス

（拍手）若シ政府ガ今次ノ増産計畫ノ實行ニ
當ツテ、今マデノ如ク此ノ下部組織ノ生産
機能ヲ動員スル方策ヲ缺キ、之ヲ等閑ニ致
シマシタナラバ、此ノ計畫ハ到底十分ナル
結果ヲ得ルニ至ラザルモノト斷言セネバナ
リマセヌ（拍手）

政府ニシテ茲ニ意ヲ用ヒ、之ヲ動員シ、
其ノ協力ヲ求ムル計畫ヲ以テ其ノ實行ニ臨
ムナラバ、漸ク疲勞ノ色アル農山漁村モ其
ノ元氣ヲ取戻シ、奮ヒ起ツニ至ルデアリマ
セウ、計畫遂行ノ分岐點ハ正ニ茲ニ在ルト
思フノデアリマス、農山漁村ニハ部落ガア
リマス、部落ノ中ニハ最寄ガアリマス、是
ガ今日ノ農村組織デアリマス、此ノ部落ハ
制度的存在デナイト致シマシテモ、古クカ
ラノ沿革的、傳統的存在デアツテ、最寄ハ
其ノ肢體デアリ、常ニ隣保相助ノ精神ニ依
ツテ固ク結付ケラレ、其ノ力ハ極メテ強イ
ノデアリマス、而シテ今日ニ於テハ、其ノ
部落又其ノ最寄ノ間ニ、所謂産業的實行團
體トモ稱スベキモノガアツテ、其ノ數ハ全
國ニ互ツテ現在ニ二十七萬餘ヲ算シテ居リマ
ス、但シ其ノ系統及ビ組織ハ頗ル區々デア
リマスガ、其ノ大半ハ主トシテ産業的ニ其
ノ部落、最寄ヲ網ノ目ノヤウニ結付ケテ居
ルノデアリマス、此ノ部落ト最寄、而シテ又
其ノ實行團體ハ、取モ直サズ農林漁業ノ生
産ニ從事スル人々ノ集リデアリマスカラ、
此ノ集マリニ對シテ政府ガ強ク呼掛け、其
ノ奮起ト活動ヲ求ムルコトガ、戰時對策ト
シテ、特ニ又増産對策トシテ最モ必要デア

ルト思フノデアリマス、即チ政府ハ町村ヲ通ジテ是等ノ部落ト、又其ノ部落ヲ通ジテ部落ノ實行團體ト抱合ツテ、對策ノ實行ニ當ルベキデアリマス、殊ニ増産ノ確保ニ必要ナル生産資材ノ配給、作業ノ協力、共同作業、勞力ノ調整ノ如キハ、部落及ビ部落實行團體ノ緊密ナル一體的活動ニ俟ツニアラザレバ、實行シ得ザルコトノミデアリマスカラ、政府ハ此ノ際ニ是等ノ下部組織ヲ適當ニ調整整備シ、之ヲ動員シテ増産計畫ノ遂行ニ備フベキデアリマス、部落及ビ部落實行團體ニ、増産確保ノ任務ヲ擔當セシメテ遺憾ナカラシムルニハ、其ノ機能ヲ十分強化セネバナリマセヌ、即チ茲ニ如何ニスレバ其ノ結合ヲ固クシ、國策ノ線ニ沿フテ敏活ナル活動ヲ爲サシメ得ルカノ問題ガアルノデアリマスガ、之ニ關シテ吾々ハ政府ニ於テ適當ナル臨時活動助成金ヲ交付スベシト主張スルノデアリマス(拍手)吾々ハ此ノ機關ノ力ヲ借りルニアラズンバ、増産計畫ノ遂行ハ到底困難ナリト信ジマス、此ノ困難ナリトスル實際的見地カラシマシテ、此ノ機關ノ活動ノ爲ニハ二千萬圓ヤ三千万圓ノ助成金交付ノ如キハ、斷ジテ吝ムベキデハナイト信ズルノデアリマス、勿論其ノ助成ノ形式、方法ノ如キハ、必シモ今此處デ彼此レ論議スベキ限リデアリマセヌガ、要ハ此ノ機關ヲ活動セシメ、増産計畫ノ遂行、生産ノ確保ニ役立タシメ得バ足リルノデアリマス、切ニ政府ノ勇斷ヲ要望シテ本決議案ニ賛成スル次第デアリマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 森肇君

(森肇君登壇)

○森肇君 本決議案ノ目的ト致ス所ニ付キマシテハ、既ニ前二君ヨリシテ大體ノコトヲ御述ニナツタノデアリマス、私ハ此ノ機會ニ於テ平素聲ヲ揚ゲザル漁村ニ關シテ、聊カ知ル所ヲ申述ベテ政府ノ御參考ニ供シタイト思ヒマス(拍手)

勞力ガ缺乏致シテ居ル、資材ガ不足致シテ居ル、其ノ他色々ノ方面ニ缺漏ガアルト云フコトハ、多ク申述ブル必要ハアリマセヌ、殊ニ漁村ニ於テハ其ノ甚シキヲ見ルノデアリマス、今日ニ於テハ相當大型ノ船ニナリマス、而シテ其ノ補充ノ途ハ殆ド絶エテ居ルノデアリマス、網ガ破レマシテモ、網ガ無クナリマシテモ、之ヲ補給致シマスル資材ノ配給ハ、十分ニ參ラナイノデアリマス、船ヲ動かス第一ノ動力ヲ作ル油ノ配給ハ、是亦御承知ノ通りデアリマス、此ノ油ノ配給ニ關シテハ、免稅ノ特典ヲ奪ハレタル其ノ際ニ於テ、政府自ラノ發意ニ依ルモノモアリ、本院ノ要求ニ基クモノモアリ、兩々相俟ツテ、相當金額ノ特別助成費ガ計上サレテ居ツタノデアリマスガ、今日此ノ豫算實行ノ跡ヲ見マスルト、昨年モ相當此ノ點ニハ減額ヲ加ヘラレタ、昭和十四年度ノ豫算ニ於テモ、三割ニ近キ減額ガ加ヘラレテ居ルノデアリマス、若キ人々ガ戦線ニ出テ居リマスルト云フコトハ、農山漁村ヲ通ジテ一樣ノコトデアリマスケレドモ、私共ノ

知ル限りデハ、殊ニ漁村ニ於テ其ノ陣頭ニ立チマスル者ノ數ガ、比較的ニ多イト認メルノデアリマス(拍手)殊ニ漁村ノ人々ハ平素波ヲ枕ニ働イテ居リマス、其ノ働イテ居リマスル實際ヲ見テ居リマスルト、戰場ニ立テル將兵諸君ト多ク選ッ所ハアリマセヌ、殊ニ波ヲ枕ニ、波ト闘ツテ働カナケレバナラス漁業ニ對シテハ、農村ニ於ケル如ク老人幼少年ヲ使役スルト云フ便利モ、非常ニ少イノデアリマス、斯様ノ關係ヨリ致シマシテ、勞力ノ不足ヲ考ヘマシテモ、他ノ各方面ニ比較致シマシテ、漁村ハ今日其ノ不足ノ多キニ苦シンデ居ル筈デアリマス、彼等ハ先祖傳來ノ稼業デアアルガ故ニ、已ムヲ得ズシテ海ノ上ニ働イテ居ルケレドモ、波ト闘ヒ、波ヲ枕ニスルコトヲ好ンデ居ルノデアリマセヌ、私共ノ承知致シテ居リマスル二三ノ縣ニ於テハ、彼等ノ生活ヲ確保シヨウト云フ目的ヲ以テ、彼等ニ與フルニ土地ヲ以テシタノデアリマスガ、其ノ土地ヲ得マシタル彼等ノ子弟ハ、鹽テ陸上ニ上ルノデアリマス、斯様ノ情勢デアアルガ故ニ、今日殷賑産業其ノ他ノ關係ニ於テ、各方面ヨリ誘ヒノ手ガ掛リマスルト、其ノ方ニ流レ込シテ參リマスル青年男女ノ數ト云フモノモ、他ノ方面ニ比シテハ寧ロ多イト私共ハ見テ居ルノデアリマス、斯様ノ情勢ニ於テ、如何ニシテ米ト竝ンデ國民ノ生活ニ資スベキ食糧ノ確保ガ出來ルデアリマセウカ、私ハ此ノ際ニ於テ政府ニ對シテ不平ハ申シマセヌ、政府トシテモ相當御苦心ニ

ナツテ居ルデアリマセウ、併シナガラ此ノ漁村方面ニ對シテハ、平素カラシテ政府ノ注意ガ足りナイノデアリマス(拍手)私ハ極メテ之ヲ遺憾ト致シマス、殊ニ今日ニ於テモ聲無キ漁村デアアルガ故ニ、音ヲ立テザル漁村デアアルガ故ニ、常ニ餘所ニ見ラレテ居ル感ジラ免レヌノデアリマス(拍手)斯様ノ實情ハ、農村山村ヲ通ジテ殆ド選バザル所デアリマスガ、特ニ漁村ニ於テ其ノ甚シキヲ見ルコトヲ遺憾ト致シマス(拍手)ドウカ政府トシテハ、是等地方ノ實情ヲ十分ニ見ラレテ、前二君ノ申述ベラレタル所ト併セテ、私ノ意見ヲモ參酌セラレ、此ノ決議案ノ趣旨ニ副フヤウ、十分ノ力ヲ致サレンコトヲ切望致シマス(拍手)私ハ茲ニ本決議案ニ對シマシテ、賛成ノ意思ヲ表明致シマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 須永好君

(須永好君登壇)

○須永好君 私ハ本決議案ニ對シマシテ、社會大衆黨ヲ代表シテ、極ク簡單ニ賛成ノ趣旨ヲ申述ベタイト思フノデアリマス、申スマデモナク農山漁村ハ事變勃發以來、多數ノ應召者ヲ出シ、又軍馬ヲ送り、而モ此ノ勞力不足ノ裡ニ、戰爭持續ノ根源タル其ノ生産ノ擴充確保ヲ遂行シテ參ツタノデアリマス、聖戰既ニ第三年ヲ迎ヘマシタガ、生活物資、就中食糧品ノ不足ヲ來サズ、國民生活ガ安定シ、長期建設戰ニ何等不安ヲ感ジマセヌノハ、其ノ後ロニ子供ヲ背負ツテ働イテ居リマスル所ノ、農山漁村民ノ努

力ノアルコトヲ、忘レテハナラナイノデアリマス(拍手)併シナガラ是等ノ努力ニモ自ラ制限ガアルノデアリマス、我國ノ如ク集約農ノ行ハレテ居リマスル國ニ於キマシテハ、肥料ハ農業生産ノ原料トモ申スベク、缺クコトノ出來ナイ要素デアリマス、然ルニ最近其ノ配給適正ヲ缺キ、春肥ノ季節トナツテ參リマシテモ、農家ノ手ニ肥料ガ渡ラズ、徒ニ奸商ガ之ニ乗ズルト云フヤウナコトニナツテ居リスマルノハ、甚ダ遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス(拍手)百駄ノ肥ヨリモ一夜ノ眞ト申シ、一日延セバ十日ノ損ト申スヤウニ、一日ノ時機ヲ爭フノガ農家作業ノ實際デアリマス、斯ノ如キ時ニ肥料ノ配給ガ思フニ任セズシテ居リマスコトハ、實ニ莫大ナ損失ト思フノデアリマス、政府ハ最近ニナツテ、三箇月分ノ肥料輸入量ヲ決定シテ、其ノ配給ヲ急グト申シテ居リマスガ、速ニ之ヲ實行シ、更ニ化成肥料ノ統制ヲ合併セ行ヒマシテ、肥料ノ配給割當制ヲ速ニ實行シテ、其ノ對策ニ遺憾ナキヲ期セラレタイノデアリマス

外樂觀ヲシテ居ルヤウデアリマスルケレドモ、愛國ノナ報告、愛國統計、是等ニ幻惑ヲシテ居リマシテ、其ノ對策ヲ忘レルヤウナコトガアリマスルナラバ、日本民族ガ三千年ノ歴史ヲ賭ケタ東亞建設ノ大業モ、挫折シナイト誰ガ保證シ得ルデアリマセウカ(拍手)斯ク考ヘマスレバ、政府ハ肥料ヲ初メ農水産資材ノ潤澤適正ナル配給ヲ行ヒ、農業ト工業トノ利潤均衡化ヲ圖ツテ、以テ農村勞力ノ調整ヲ行ヒ、或ハ價格主義ニ依ツテ指導シタ農業ヲ、強制多收主義ニ改メテ、殊ニ默々トシテ銚後ノ勞働奉仕ニ、或ハ共同作業ニ、遺家族ノ慰問ニ、或ハ農水産ノ改良ニ、惜テハ水路、道路、社寺ノコトニ至ルマデ取扱ツテ活躍シ、大日本帝國ノ礎石ヲ成シテ居リマスル所ノ部落實行團體ノ助成強化ノ如キハ、農業團體ノ廢合整理ト共ニ、缺クベカラザル所ノ緊要事デアルト思フノデアリマス(拍手)是等ノ内容ト致シテ居リマス所ノ本決議案ニ對シ、吾々ハ雙手ヲ舉ゲテ賛成シ、其ノ實現ヲ期シテ止マナイ者デアリマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 小野謙一君

(小野謙一君登壇)

○小野謙一君 諸君、農林水産物ノ生産ヲ安定シ強化シ擴大セシムルコトハ、強大ナル國防國家體制ノ確立ガ強ク要求サレテ居ル現下ノ日本ニ於テハ、洵ニ不可缺ナル且ツ重大ニシテ緊要ナル案件デアリマス、斯ル見地ヨリ本決議案ニ對シマシテ、東方會ハ全幅ノ賛意ヲ表スルモノデアリマスガ、

問題ハ如何ニシテ本決議案ノ趣旨ヲ實踐貫徹スルカニ重點ガアルト存ジマス此ノ農林水産物ノ生産ヲ保持シ、増進セシムル根本的ノ要件ハ、農林漁業經營ノ安定性ヲ確立スルコトニアリマス、殊ニ農業經營ノ安定セシムル手段方法ハ、固ヨリ多々存スルノデアリマスルケレドモ、其ノ最モ基礎的ナルモノハ土地問題ノ解決、土地政策ノ確立實踐ニアルノデアリマス、而モ私共ハ既ニ此ノ問題ニ對シテ成案ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、時間ガアリマセヌノデ、今日ハ之ヲ省略致シマシテ、本決議案ニ直接關係アル、即チ現下ノ事變下ニ對處スベキ二三應急的對策ニ付テ申述ベタイト存ジマス

第一ハ農産物ノ價格ノ適正化デアリマス、農産物ト工業生産品トノ不當ナル缺狀價格差ヲ適正化スル物價政策ヲ確立實施スルコトデアリマス、最近是等ノ傾向ガ特ニ著シキモノアルガ故ニ、政府ニ對シテ有效適切ナル物價政策ノ即時斷行ヲ要望スルモノデアリマス

第二ハ農業生産ノ維持増進ニ不可缺ナル肥料ノ増産ト、低廉且ツ圓滑ナル配給ノ確保ヲ要求スル、此ノ點ニ關シマシテハ、政府ノ微溫的態度ガ洵ニ遺憾ニ堪ヘマセヌ、現ニ東北地方ニ於キマシテハ春肥ノ需要ヲ目睫ニ控ヘナガラ、過燐酸加里鹽ノ配給ヲ殆ド絶望視サルル狀態ニ放置シナガラ、政府ガ如何ニ銚後農民ニ對シ生産ノ増進ヲ強要スルモ、ソレハ寧ロ難キヲ強フルモノト言ハネバナリマセヌ(拍手)加之全農作物ノ

輸出ガ一箇年五億圓ヲ超エテ居ル實績ニ鑑ミルモ、且亦直接軍需品タル見地ヨリスルモ、硫安其ノ他ノ化學肥料ノ輸入ニ、相當ノ彈力ヲ持タセルコトノ必然性ヲ認ムベキデアルト信ジマス

第三ハ農山漁村ニ於ケル人的資源ノ確保デアリマス、事變發生以來壯丁ノ應召ニ因リ、又ハ軍需品工場ヘノ勞働力吸收ニ因リ、地方ニ於ケル勞働力ハ非常ニ不足ヲ告ゲツツアルノ情勢ニアルノデアリマス、故ニ是ガ補給ノ對策トシテ、農業器具機械、其ノ他生産資財ノ確保配給ニ特別ノ意ヲ用ヒナケレバナリマセヌ

第四ハ農山漁村ノ各種團體ヲ整理統合シ、是等ノ諸團體ヲ計畫的ナル生産擴大指導工作ニ總動員スベキデアリマス、私共ハ銚後國民ニ對シ、均等ナル犧牲ト奉仕トヲ要求スルモノデアリマスガ、事變ガ長期ニ互レバ互ル程、一方的ナル犧牲ノミハ決シテ國民ノ堅忍持久力ト、其ノ精神力ヲ鼓舞激勵スル所以デアリマセヌ(拍手)即チ政策的ニ之ヲ助成シ、激勵シ、而シテ其ノ元氣ヲ涵養スルコトガ必要デアリマス、是ガ爲ニハ政府ハ全國三十萬ノ部落團體ニ補助金ヲ與ヘ、其ノ積極的活動ヲ求ムルコトガ、長期聖戰下ニ於ケル農林水産ノ生産ヲ確保増進シ、以テ東亞ノ新建設ニ邁進スル所以デアルト信ジマス、而シテ六十億ノ戰費ニ比較シマスレバ、五六千萬圓ノ助成金ハ九牛ノ一毛ト申サナケレバナリマセヌ(拍手)更ニ私ハ最後ニ消費ニ對シテ一言申添ヘ

タイノデアリマス、事變下ニ於ケル銃後國民ノ任務ハ、一方ニ生産ノ増進ヲ確保スル

ト共ニ、他方ニハ消費ノ合理化ヲモ實行セ

ネバナリマセヌ、私ノ所謂消費ノ合理化ト

ハ、消費ノ制限ニアラズシテ、無意義ナル

消耗ノ防止デアリマス、一例ヲ國民

ノ主食物米ニ付テ申上グルナラバ、國

策トシテ混砂搗ヲ禁止シ、七分搗ヲ實行

スルコトニ依リ、内地ニ於ケル米ノ消費量

ノ優ニ一割、七八百万石ノ無意義ナル減損

ヲ防除シ得ルデアリマス、是ハ單ニ經濟

的見地ヨリ申スノデハナイ、精神的ニ之ヲ

見ルナラバ、國民精神總動員ノ立派ナ實踐

デアリマス(拍手)又衛生保健ノ角度カラ眺

ムルナラバ、學者専門家ノ定説ニ依リマシ

テモ、既ニ議論ノナイ所デアリマス、之ヲ

要スルニ一舉三得デアル、私ハ政府ニ對シ、

國策トシテ速ニ消費ノ合理化ヲ實行セラレ

ンコトヲ御勸メスルモデアリマス(拍手)

斯ノ如ク生産ノ増進ト消費ノ合理化ト兩々

相俟ツテ、食糧ニ惠マレタル我が日本ガ初

メテ長期ノ戦争ヲ克服シ、長期ノ建設ニ成

功シ、來ルベキ第二、第三ノ戦争ニ何等ノ

不安ナクシテ準備スルノ可能性ヲ持ツモノ

ト確信致シ、本決議案ニ賛成スルモノデア

リマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 是ニテ討論ハ終局致

シマシタ、採決致シマス、本案ニ賛成ノ諸

君ノ起立ヲ求メマス

(議員起立)

○議長(小山松壽君) 起立總員

(拍手起立)

○議長(小山松壽君) 仍テ本案ハ全會一致

可決セラレマシタ

○服部崎市君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ

提出致シマス、即チ此ノ際日程第十二及ビ

第十三ノ兩案ヲ繰上ゲ一括上程シ、其ノ審

議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異

議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマ

ス——政府ハ此ノ日程變更ニ同意セラレマ

シタ、仍テ日程ノ順序ハ變更セラレマシタ、

日程第十二、裁判所構成法改正法律案、日

程第十三、檢察廳法案、右兩案ヲ一括シテ

第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ

求メマス——委員長熊谷直太君

第十二 裁判所構成法改正法律案(野

田文一郎君外二十六名提出)

田文一郎君外二十六名提出)

第十三 檢察廳法案(野田文一郎君外

二十六名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一裁判所構成法改正法律案(野田文一郎

君外二十六名提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

昭和十四年二月二十八日

委員長 熊谷 直太

衆議院議長小山松壽殿

報告書

一檢察廳法案(野田文一郎君外二十六名

提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

昭和十四年二月二十八日

委員長 熊谷 直太

衆議院議長小山松壽殿

(熊谷直太君登壇)

○熊谷直太君 只今上程セラレマシタ裁判

所構成法改正法律案及ビ檢察廳法案ノ委員

會ニ於ケル經過及ビ結果ヲ御報告申上ゲタ

イト思フデアリマス、委員會ハ四回ニ互

リマシテ質疑應答ヲ重ネマス、最初ニハ本

案提出者野田文一郎君ノ説明ヲ求メタノデ

アリマス、此ノ兩案ハ形ハ別レテ居リマス

スケレドモ、實ハ精神ハ一ツカラ出テ居ル

所ノ法案デアリマシテ、經過ヲ御報告致ス

ニ付キマシテモ、兩方ニ分クズニ一括シテ申

上ゲテ置キタイト思フデアリマス、其ノ

方ガ便利ト考ヘルノデアリマス、野田君ノ御

説明ハ、法文ハ澤山アリマスケレドモ、其

ノ趣旨ハ極ク平たく申上ゲマス、六點ニナ

ツテ居ルデアリマス、其ノ第一ハ檢察局

ト裁判所トノ分離、是ハドウシテモヤツテ

行カナケレバナラヌ、今日ノ實情ニ徴シテ

見マスト、檢察局ト裁判所ト一緒ニナツテ

居ル結果ト致シマシテ、種々ナル惡弊ヲ招

來スル、即チ吾々ガ大聲疾呼スル所ノ人權

蹂躪ノ惡弊ヲ招來スル虞ガアルカラ、ドウ

シテモ之ヲ分ケテ行カナケレバナラヌト云

フノデ、檢察局ト裁判所ト分離ガ重要ナ點

ニナルデアリマス、第二ハ大審院長ノ監

督權ノ擴張、皆御承知ノ通り、是マデハ

大審院長ハ權限ヲ多ク持ツテ居ラヌ、唯大

審院ノ範圍内ニ於テノミ行政權ヲ持ツテ居

ルデアリマシテ、大審院ノ管轄即チ全國

ニ互ツテハ持ツテ居リマセヌ、此ノ場合ニ

於テ之ヲ更ニ大キク致シマシテ、全國ニ互

ルモノニシタイ、斯ウ云フ考ヲ持ツノデア

リマス、第三ニハ審級制度ノ合理化、是亦

皆御承知ノ通りニ、控訴院ニ於テハ三名

ノ判事デス、昔ハ五名ノ判事ヲ以テ裁判シ

テ來タノデアリマスガ、今日ハ三名トナツ

テ居ル、成程三名ノ判事デモ宜シイ、一人

ノ判事デモ宜シイ、判事ニ其ノ人ヲ得レバ、

ソレデ結構デアリマスケレドモ、中々サウ

理想通りニ參ラヌ、是ハ是非トモ員數ヲ殖

ヤシテ、控訴院ニ於テハ五人、大審院ニ於

テハ七人、斯様ニシテ比較的多數ノ、比較

的優良ナル人ヲ得マシレバ、其ノ裁判ハ比

較的立派ニナルコトハ疑ナイコトデアリマ

スカラ、之ヲ直シテ行キタイト云フノガ第

三點デアリマス、第四點ハ法曹ノ一元化、

是ハ成ベク世ノ中ノ經驗ニ富ミ、人間社會

ノコトヲ能ク見聞シテ居ル人、サウ云フヤ

ウナ人ヲ擧ゲテ裁判官若クハ檢察官ニシタイ

ト云フ趣旨デアリマス、是マデハ御承知ノ

通リ辯護士カラ採ルノニモ、中々難カシイ
審査ヲ經テヤルト云フヤウナ狀態デアリマ
シテ、兎角學問バカリヤツテ世ノ中ノ事ヲ
見聞シナイ人ヲ裁判官又ハ檢事ニ採用スル
結果、種々ナル方面ニ惡イ結果ヲ招來スル
ノデアリマスカラ、是ハドウシテモ直シテ
行カナケレバナラスト云フ考ヲ以テ、此ノ
法案ガ出來タノデアリマス、第五ハ判事ト
檢事トノ人事交流ノ廢止デアリマス、御承
知ノ通りニ今日檢事トナツテ居レバ明日判
事ニ轉補セラレ、今日判事トナツテ居レバ
明日檢事ニ轉補セラレルト云フヤウニ、自
由自在ニ轉官シテ行クコトニ付キマシテハ、
多少ノ弊害ガアルノデハナイカト云フ考ヲ
持ツテ居ルノデアリマス、是ハサウ云フコ
トノナイヤウニ致シマシテ、成ベク判事ハ
判事、檢事ハ檢事ト云フ風ニシテ行キタイ
ト云フ考ヲ持ツタノデアリマス、第六ハ判事
停年制ノ廢止、停年制ハ一應ノ理窟モアリ
マスケレドモ、併シ此ノ制度ノ置カレタ所
ノ弊害ト致シマシテハ、ドウ云フコトガ出
テ來ルカト考ヘテ見マスト、停年ニ達シマ
シテモ全ク頭腦ガ明晰デアツテ、健康モ洵
ニ宜シイ、斯ウ云フ人デモ年ヲ取ツテ停年
ニ達スレバ、辭メナケレバナラスト云フコ
トハ甚ダ宜シクナイコトデアアル、故ニソコ
ニ一ツノ年ヲ限ラヌデモ、何等カノ會議ノ
結果、罷メナケレバナラス者ハ、幾ラデモ
罷メサセルコトガ出來ルト思フノデアリマ
ス、构子定規ニ停年制ヲ行フ弊害ハ、是マ
デ段々經驗シ來ツテ其ノ甚ダ大ナルヲ認メ

マスガ故ニ、此ノ制度ヲ廢止シタイト云フ
ノデアリマス、右六點ハ提案者タル野田文一
郎君カラ、委員會ニ於テ説明セラレマシタ所ノ
モノデアリマス、之ニ對シテ司法大臣ハ如何ナ
ル御意見ヲ持ツテ居ラレカト云フト、甚ダ
遺憾ナガラ今日ニ於キマシテハ右兩法案ヲ
改ムルノ意思ガナイト云フ御意見デアツタ
ノデアリマス、質問ハ終了致シマシテ討論
ニ入り、民政黨ノ高橋義次君、政友會ノ高
橋泰雄君、社會大衆黨ノ松永君、第一議員
俱樂部ノ金井君、斯ウ云フ方々ヨリ段々ト
御意見ガアリ、兩案トモ是非トモ成立セシ
ムベキモノデアアルカラ、大賛成デアルト云
フ意見ヲ述べラレタノデアリマス、結局之
ヲ議場ニ諮ツタ所、滿場一致ヲ以テ可決シ
タノデアリマス、此段御報告ニ及ビマス、
ドウゾ皆サンモ此ノ兩案ニ對シテ御贊成ア
ランコトヲ希望致シマス(拍手)
○議長(小山松壽君) 兩案ノ第二讀會ヲ開
クニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシ
タ
○服部崎市君 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開
キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り
可決セラレンコトヲ望ミマス
○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異
議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議
案全部ヲ議題ト致シマス
裁判所構成法改正法律案
第二讀會(確定議)
檢察廳法案 第二讀會(確定議)
○議長(小山松壽君) 別ニ御發議モアリマ
セヌ、第三讀會ヲ省略シテ、兩案トモ委員
長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)日程
第二乃至第四ハ關聯セル議案デアリマスカ
ラ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマ
ス、日程第二、國債整理基金特別會計法中
改正法律案、日程第三、明治三十九年法律
第三十四號中改正法律案、日程第四、明治
四十二年法律第九號中改正法律案、右三案
ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス——松村大
藏政務次官
第二 國債整理基金特別會計法中改正
法律案(政府提出) 第一讀會
第三 明治三十九年法律第三十四號中
改正法律案(國債ニ關スル件)(政府
提出) 第一讀會
第四 明治四十二年法律第九號中改正
法律案(政府ニ對スル保證金其ノ他ノ
擔保ニ供シタル國債ノ買入銷却ニ關
スル件)(政府提出) 第一讀會
國債整理基金特別會計法中改正法律案

國債整理基金特別會計法中左ノ通改正
ス
第二條第三項中「前項」ヲ「前二項」ニ改メ
同條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ
前項ノ國債總額ノ計算ニ際シ割引ノ方
法ヲ以テ發行シタル國債ニ付テハ發行
價格ヲ以テ額面金額ト看做ス
第二條ノ三 國債ノ元金償還ニ充ツル爲
前二條ノ繰入額ノ外割引ノ方法ヲ以テ
發行シタル國債ノ前年度首ニ於ケル未
償還分ノ發行價格差減額ヲ發行ノ日ヨ
リ償還ノ日迄ノ年數ヲ以テ除シタル額
ニ相當スル金額ヲ毎年度一般會計又ハ
特別會計ヨリ國債整理基金特別會計ニ
繰入ルヘシ
第二條第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ付
之ヲ準用ス
附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
明治三十九年法律第三十四號中改正法
律案
明治三十九年法律第三十四號中左ノ通改
正ス
第九條但書ヲ削ル
附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
明治四十二年法律第九號中改正法律案
明治四十二年法律第九號中左ノ通改正ス
左ノ但書ヲ加フ
但シ割引ノ方法ヲ以テ發行シタル國債

ニシテ買入ノ日ヨリ五年以内ニ償還期限ノ到來セサルモノニ付テハ發行價格ニ命令ノ定ムル所ニ依リ發行價格ト額面金額トノ差額ノ一部ニ相當スル金額ヲ加算シタルモノヲ以テ其ノ國債ノ債權金額ト看做シ買入銷却ヲ爲スコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員松村光三君登壇〕

○政府委員(松村光三君) 只今議題トナリマシタ國債整理基金特別會計法中改正法律案、明治三十九年法律第三十四號中改正法律案及ビ明治四十二年法律第九號中改正法律案提出ノ理由ヲ説明致シマス、現下巨額ノ國債ヲ發行スル必要ガアリマスノデ、此ノ際其ノ一部分ヲ割引ノ方法ニ依ツテ發行シ得ルコトト致シマスルコトハ、國債消化ノ一助トナリマスノミナラズ、他面其ノ所有者ニ於キマシテハ、國債ノ利子ヲモ貯蓄スルコトトナリマシテ、時局對策上最モ緊要ナ貯蓄獎勵ノ趣旨ニモ合致シマスルノデ、此ノ際昭和十四年以降ニ於テ發行致シマスル國債ニ付キマシテ、其ノ一部分ハ此ノ方法ニ依ルコトト致シマシタル所、是ガ爲ニハ國債整理基金特別會計法、明治三十九年法律第三十四號及ビ明治四十二年法律第九號中ニ、ソレノ若干ノ改正ヲ加ヘル必要ガアリマスノデ、是ガ改正法律案ヲ提出致シマシタ次第アリマス、何卒御審議ノ上速ニ御協賛ヲ與ヘラレシコトヲ希望致

シマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○服部崎市君 日程第二乃至第四ノ三案ハ一括シテ政府提出、昭和十四年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外二件委員ニ併セ付託セラレシコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第五、產金法中改正法律案、第一讀會ヲ開キマス——松村大藏政務次官

第五 產金法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

產金法中改正法律案

產金法中左ノ通改正ス

第十一條ノ二 政府ハ必要アリト認ムルトキハ左ニ掲グル物ヲ所有スル者ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ處分ニ關シ禁止若ハ制限ヲ爲シ又ハ之ヲ政府若ハ政府ノ指定スル者ニ賣却スベキコトヲ命ズルコトヲ得

一 金地金

二 金ノ合金ニシテ命令ノ定ムル種類ノモノ

三 金ヲ主タル材料トスル物ニシテ命令ノ定ムル種類ノモノ

政府ハ必要アリト認ムルトキハ金貨幣ヲ所有スル者ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ處分ニ關シ禁止若ハ制限ヲ爲シ又ハ之ヲ鑄潰シ依リテ得タル金地金ヲ政府若ハ政府ノ指定スル者ニ賣却スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十一條ノ三 前條ノ規定ニ依リテ政府ノ爲ス金地金、金ノ合金又ハ金ヲ主タル材料トスル物ノ買入ハ金資金ノ運用ニ屬スルモノトス

第十一條ノ四 第十一條ノ二ノ規定ニ依リ政府又ハ政府ノ指定スル者ニ賣却スベキコトヲ命ズル場合ノ賣却價額ハ金地金ニ在リテハ其ノ物ノ中ニ含マルル金ノ純量ニ付第一條第一項ノ規定ニ依リ政府ガ金地金ヲ買上グル場合ノ買上價格ニ依リ算出シタル金額トシ金ノ合金又ハ金ヲ主タル材料トスル物ニ在リテハ金委員會ノ定ムル所ニ依ル

第十一條ノ五 第十一條ノ二第一項第三號ノ規定ニ依リ金ヲ主タル材料トスル物ヲ政府又ハ政府ノ指定スル者ニ賣却スベキコトヲ命ズル場合ニ於テ其ノ物ガ美術品骨董品工藝品其ノ他ノ物ニシテ鑄潰スルコトヲ適當トセザルモノナルトキハ其ノ物ヲ所有スル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受ケ之ヲ賣却セザルコトヲ得

第十四條中「又ハ第十一條」ヲ「第十一條又ハ第十一條ノ二」ニ改ム

第十九條中「當該金地金」ノ下ニ「金ノ合

金、金ヲ主タル材料トスル物」ヲ加ヘ同條ニ左ノ二號ヲ加フ

五 第十一條ノ二ノ規定ニ依リ禁止又ハ制限ニ違反シタル者

六 第十一條ノ二ノ規定ニ依ル命令ニ違反シテ金地金、金ノ合金又ハ金ヲ主タル材料トスル物ヲ政府又ハ政府ノ指定スル者ニ賣却セザル者

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

外國爲替管理法第四條第一項第一號中「金地金」ヲ削リ同法第五條第三項中「金地金」ヲ「外國通貨」ニ改ム

〔政府委員松村光三君登壇〕

○政府委員(松村光三君) 只今議題トナリマシタ產金法中改正法律案ニ付テ提出ノ理由ヲ説明致シマス、金ノ集中ヲ圖リ、以テ本邦ノ對外決濟力ノ充實ニ資スルコトハ、我國現下ノ國際收支ノ狀況ニ顧ミマシテ、極メテ必要ナコトデアリマス、去ル第七十一議會ニ於キマシテ協賛ヲ得マシタ產金法ノ施行以來諸般ノ措置ヲ講ジマシテ、之ニ依リマシテ極力產金ノ増加ヲ圖ルト共ニ、或ハ金ノ使用規則ヲ制定シ、國內ニ於ケル金ノ消費節約ヲ圖リ、或ハ國民ノ協力ヲ得マシテ民間所在金ノ集中ニ努メテ參ツタノデアリマスガ、今後ニ於ケル時局ノ推移ニ顧ミマスレバ、此ノ際民間所在金ノ集中ハ更ニ之ヲ徹底スルノ要ガアルト考ヘルノデアリマス、勿論民間所在金ノ集中ハ、一ニ國民ノ愛國心ノ發露ニ俟ツモノデアリマス

ガ、是ガ徹底ヲ期スル爲ニハ、必要ナル場合、金地金ハ勿論、金ヲ主タル材料トスル物等ヲ所有スル者ニ對シマシテハ、是ガ處分ニ付テ禁止若クハ制限ヲ爲シ、又ハ之ヲ政府若クハ日本銀行其ノ他政府ノ指定スル者ニ賣却スベキコトヲ命ジ得ル旨ノ法制ヲ整ヘテ置クコトガ必要デアリト認メマシテ、本法案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

○議長(小山松壽君) 質疑ノ通告ガアリマス、之ヲ許シマス——高橋壽太郎君

(高橋壽太郎君登壇)

○高橋壽太郎君 只今政府委員ヨリ御説明ノアリマシタ産金法中改正法律案ニ關聯ヲ致シマシテ、三四點ノ質問ヲ致シタイト存ジマス、本法案ハ世ニ所謂金強制買上案デアリマス、時局柄金ノ集中ト云フコトハ致シ方ナイコトデアリマセウ、併シナガラ政府ハ國民ノ懷ロヲ狙フ前ニ、先ヅ金ノ増産ヲ圖ルベキ積極的計畫ヲ立テラレナケレバナラスノデアリマス、私ハソレ等ノ見地カラ、政府ニ質問ヲ致シタイト存ジマス

第七十二回議會ノ當時、賀屋大藏大臣ハ此ノ事變下ニ處スル軍需品買入用ノ金ハ、之ヲ輸出貿易ノ振興ニ求メテ外貨ノ獲得ヲスル、又一方ニハ産金ノ獎勵ヲ行ツテ、其ノ産金額ヲ以テ賄ツテ行カウト云フ案デアリマシタ、貿易外ノ國際收支貸借ニ餘リ期待ヲ置カレナイ現狀ニ於キマシテハ、是レ以外ニ途ハアリマスマイ、併シナガラ昨十三

年度ノ貿易ノ收支關係ヲ調べテ見マスト、表面ハ六千四百萬圓ノ輸出超過ニナツテ居リマスルガ、是ハ圓「ブロック」内ノ勘定デアリマシテ、第三國ノ貿易關係ヲ調べテ見マスト、驚ク勿レ五億圓ノ輸入超過ニ相成ツテ居ルノデアリマス、一體貿易財政ノ根本ハ、輸出貿易ノ伸張ト産金額ノ増加ニ依ツテ軍需品ヲ十分ニ買入レ、日本銀行ノ正貨準備ニハ手ヲ著ケナイ、斯ウ云フコトニ立脚シテアツタと思フノデアリマスガ、今日ノ情勢ニ於テハ、最早日本銀行ノ有金ニ手ヲ著ケナケレバナラナイト云フ重大ナル時局ニ相成ツタノデアリマス、洵ニ國家ノ爲ニ深憂ニ堪ヘナイ所デアリマス、當時賀屋財政ニ參畫セラレマシタ石渡大藏大臣モ亦吾々ト共ニ憂ヲ同ウシ、甚ダ之ヲ遺憾トセラレル所デアラウト存ジマス、惟フニ今日ノ我が戰時體制下ニ於キマシテハ、百億圓ノ公債ヲ消化スルコトハ困難ニハ違ヒアリマセヌケレドモ、決シテ至難ノ業デハナイノデアリマス、併シナガラ之ニ反シテ、其ノ十分ノ一ニモ足ラナイ數億ノ金貨ヲ獲得スルト云フコトハ、難事ノ中ノ難事デアリマス、此ノ事ガ遂行出來ナケレバ、恐ラク此ノ聖戰ノ目的ヲ達成スル上ニ於テ、多大ノ障礙ヲ生ズルモノト存ジマス、併シ是トテモ施スニ途ヲ以テスレバ、決シテ不可能ノコトデアリマセヌ、大河内子爵ノ議員ニ配ラレマシタ「持テル國」日本ト云フ本ニハ、斯ウ云フコトガ書イテアリマス、南阿弗利加ハ世界ノ最大金産國デアルガ、其處デハ

決シテ富嶺ノ金礦バカリヲ處理シテ居ルノデハナイ、百万分ノ二程度ノ貧嶺ヲ多量ニ製鍊シテ居ルノデアル、斯ウ書イテアリマス、今日我國ニ於テハ百万分ノ四以下ノ貧嶺ハ、物ニナラナイト云ツテ之ヲ捨テテ居ル、洵ニ贅澤至極デアリマス、是デハ金ノ資源ニ乏シイノデヤナイ、産業的勇氣ノ乏シイコトヲ慨歎セザルヲ得ナイノデアリマス、又一方ニ於キマシテ、日本内地各所ニ澤山ノ金山ガ發見サレテ居リマス、ソレ等ハ多クハ世ニ所謂山師ト稱セラレル群小ノ鑛業權者ノ手ニアツテ、未ダニ開發セラレズニ放置サレテアリマス、私ハ何故政府ガ之ヲ動員スルコトヲヤラナイノカ、深ク怪シム者デアリマス、是等ノ山々ハ悉ク有望ナ山バカリデアリマスマイケレドモ、之ニ開發ノ資金ヲ與ヘ、之ヲ導クニ相當ノ技術ヲ以テシマシレバ、私ハ數デコナスト云フ言葉ノ通り、相當ナ金産額ヲ得ルニ違ヒナイト確信スル者デアリマス、政府ガ頻リニ計畫ヲサレマシテ實施ニ移サレマシタ産金獎勵法ノ如キモ、多クハ大キナ鑛業權者ヲ保護助成スルコトニナリマシテ、群小ノ鑛山業者ヲ保護助成スルト云フコトニハ相成ツテ居リマセヌ、政府ハ宜シク此ノ際此ノ群小鑛山業者ヲ動員シテ、大イニ産金ノ増加ヲ圖ルベキデアリマス、此ノ事ハ聽テ吾等ガ大陸ノ資源開發ヲスル際ニ當ツテ、是等群小ノ鑛山業者ハ率先シテ嘗テ内地ニ於テ體驗シタ所ヲ大陸ニ施シ、大イニ支那大陸ノ鑛山開發ニ貢獻スル所アラウト存ジ

マス、此ノ點カラ申シマシテモ、政府ハ一ツノ鑛山實習學校、或ハ鑛山技術講習會ヲ開イタ積リデ、思ヒ切ツタ助成金額ヲ支出スベキデアラウト思フノデアリマス

今日我國ノ輸出貿易ハ内地ノ物價高ニ禍セラレマシテ殆ド振ヒマセヌ、話ニ聞ク所ニ依リマス、政府ハ輸出貿易損失補償法ト云フモノヲ設ケラレマシテ、八割ノ損失マデ引受ケテアラウトシテ乗出サレタノデアリマスガ、今日ノ實情ニ於キマシテハ、殆ド此ノ法律ハ無用ニ歸シテ居ル、ドウ云フ譯カト申シマス、輸出貿易品トシテベケラ喰ツタ不合格品ハ、却テ内地ニ於テ高ク賣レル、何モ苦シンデ外國ニ品物ヲ賣ラナクテモ宜シイ、數倍ノ利益ヲ求メ得ラレル、故ニ今日輸出品ハ不合格ニナツタ方ガ宜シイ、サウ云フコトヲ考ヘルニ至ツタ商賣人モ少クナイヤウデアリマス、斯ル狀態デアリマスレバ、是ハ輸出貿易ニ餘程骨ヲ入レテモ、其ノ實績ヲ舉ゲルコトハ相當困難ガ伴フモノト思ヒマス、サウシマス、殘サレタ唯一ツノ途ハ産金ノ増加ヲ圖ルト云フコトニナルノデアリマス、否、金ノ産出ノ増加バカリデアリマセヌ、一般ノ所謂重要鑛物ノ増産ヲ圖ルト云フコトニ致サナケレバナラスト存ジマス、政府ハ前議會ニ於キマシテ、産金法及ビ重要鑛物増産法案ヲ提出サレテ、今日ソレガ實施ニナツテ居ルノデアリマスガ、其ノ成績甚ダ芳シカラヌコトハ御承知ノ通りデアリマス、一體大藏省ハ金資金特別會計——今日審議ニ上ツタヤ

ウデアリマスガ、之ヲ持ツテ居ル關係デアリマセウ、黄金ノ金タケニ敬申シテ居ラレルヤウデアリマスガ、是ハ一ヲ知ツテ二ヲ知ラナイモノデアアル、斯ウ申上ゲタイノデアリマス、ソレハ姑ク措キマシテ、産業四箇年計畫ノ骨子トモナリ、又我が戰時財政經濟ノ大黒柱デアアル所ノ産金額ガ、四年計畫ノ第一年度タル昨年ニ於テ所期ノ成績ヲ擧ゲ得ナイト云フコトハ、國家ノ爲ニ洵ニ悲シムベキコトデアリマス、良キ手始めハ成功ノ半バナリト申シマスガ、抑、ノ第一歩カラ蹉跌ヲ來スヤウデアツテハ、此ノ先ノコトガ案ジラレルノデアリマス、然ルニ昭和十四年度ノ一般會計ニ於ケル商工省ノ豫算ヲ見マスルト、十三年度モ、十四年度モ殆ド豫算ニハ變リガアリマセス、洵ニ驚クベキコトデアリマス、礦物關係ニ於テ豫算ノ増額サレタモノハ、石油増産ニ關スル助成金數百萬圓ト、鑛山監督局増員ニ伴フ經費三十萬圓、是ダケデアリマス、其ノ他ハ舊態依然何等ノ變化ヲ見ナイノデアリマス、一體此ノ十三年度ノ豫算ハ恐ラク昭和十二年ノ夏頃、上海戰ノ酣ナル時ニ作ラレテ、マダ蔣介石ヲ對手ニシテ居ツタ時代ノ編成ニナツタモノデアリマス、而シテ論議サレタノハ十三年ノ春、マダ物資ノ經濟統制ノ行ハレナイ、今カラ言ヒマスレバ、「昔ハモノヲ思ハザリケリ」ト云ツタヤウナ時代ニ、此ノ豫算ガ取扱ハレタノデアリマス、然ルニ今日此ノ緊迫セル事態ニ對應スル商工省ノ豫算ガ、昨年ト何等ノ差ガナイト云フコ

トハ何トシタコトデアアルカ、私ハ此ノ豫算ヲ時局ニ取殘サレタル豫算ト申シマス、商工大臣ニハ御氣ノ毒デアリマスケレドモ、洵ニ斯ウ云フ取殘サレタル豫算ヲ國民ニ提示シナガラ、國民ニ時局ノ認識ヲ強ヒルガ如キハ、誤レルモ亦甚シキモノト申サナケレバナリマセス（拍手）去ル昭和十二年度ノ貿易關係ヲ檢討致シマスルト、第三國カラ輸入ガ十五億圓、内鑛石並ニ金屬ノ輸入ハ九億圓ニ達シテ居リマス、正ニ第三國輸入ノ六割ヲ占メテ居リマス、恐ラク昨十三年度ハ一層此ノ金屬類ノ輸入ガ増加シテ居ルモノト信ズルノデアリマスガ、是等ノ支拂ハ結局金貨デ拂ハナケレバナラスコトハ申スマデモアリマセス、サウシテ見マスルト金モ其ノ他ノ重要礦物モ、是ハ全ク異名同體ノ物デアリマス、不二ト申シマスカ、一ニシテ二ナラズ、二ニシテ一ナリト云フアノ言葉ノ通りデアリマス、隨テ私共ハ金資金特別會計ヲ有スルガ故ヲ以テ、金ノミノ事ニ没頭シテ居ル大藏省當局ノ認識ヲ改メテ戴キタイト存ジマス、實ヲ申セバ金ヨリモ其ノ他ノ金屬類ガ一層必要ナノデアリマス、黄金タル金ハ唯支拂決済ノ爲ノ金ニ止マルノデアリマスガ、其ノ他ノ金屬ト云フモノハ直チニ物デアアル、而シテ此ノ聖戰ヲ遂行スル爲ニハ最も重要ナル軍需品デアリマス、金ニシテ物、之ヲ兼ネテ居ル物ガ重要礦物デアリマス、政府ハドウカ是等ノ點ニ對シテ十分ニ施設ヲ誤ラヌヤウニ御願致シマス

只今金ト其ノ他ノ金屬トノ話ヲ申上ゲマシタガ、殊ニ密接ナ關係ニアルモノハ金ト銅デアリマス、金ト銅ハ冶金學ノ上カラ言ツテモ、亦採鑛ノ上カラ言ツテモ是ハ不可分ナモノデアリマス、申スマデモナク金山ヤ、砂金カラ採リ出シマスル黄金ノ高ト云フモノハ、餘リ多クハナイノデアリマス、大部分ハ銅製鍊會社カラ產出スルモノガ多いノデアリマス、日立ノ鑛山ト云ヒ、佐賀ノ關ノ製鍊所ト云ヒ、龐大ナル金ヲ此處カラ產出シテ居リマス、隨テ金ノ產額ノ増加ヲ圖ルニハ、ドウシテモ銅ノ方ノ増産ヲ圖ラナケレバナラナイト云フコトニ相成ルノデアリマスガ、銅方面ノ事ヲ考ヘテ見マスルト洵ニ心細イノデアリマス、政府ハ之ニ何等ノ助成モ與ヘナイト申シテ宜イデアリマセウ、若シ政府ガ幸ニ金ト銅ガ不可分ダト云フコトヲ御承認ニナツテ、銅増産ニ對スル施設ヲ進メラレマシタラバ、所謂一石二鳥、今日非常ニ銅ノ不足シテ居ル此ノ際デモアリマスカラ、大イニ國家ヲ利スル所ガアルガラウト思フノデアリマス

次ニ申上ゲタイト思ヒマスコトハ、先程一寸觸レマシタ群小ノ鑛業權者ニ、鑛山開發ノ資金ヲ融通スルト云フコトデアリマス、今日は等ノ鑛山ヲ開發致サウト思ヒマス、之ニ要スル資金ハ興業銀行ハ勿論ノコト、日本產金振興會社ト雖モ、其ノ資金ノ融通ハ致サナイノデアリマス、開發ニ著手シテ將來ノ見込ノアルモノニ對シテ、融通ヲスルコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、資金ヲ融通スルト云フ上ニハ、是モ無理ハナイコトト存ジマスガ、併シ政府ガ曩ニ制定サレマシタ輸出貿易損失八割補償ト云フヤウナ、放膽ナ金融ヲヤラルルナラバ、是等ノ群小鑛山ヲ動員シテ、金其ノ他ノ重要礦物ノ増産ヲ圖ルコトハ容易イノデアリマス

次ハ此ノ議場デ展、耳ニスル所ノ産業方針ハ營利追求ノ産業デハイケナイ、公益經濟ニ基カナケレバナラスト云フコトヲ、屢耳ニシテ居ルノデアリマス、御説御尤、私モ主義ニ於テ異存ハアリマセス、併シナガラ今日ノ我國ノ産業ハ、長イ間營利追求デ進ンデ來タノデアリマス、今日之ヲ止メテ公益經濟ニ乗換ヘテ、次ノ「レール」ヲ走ルト云フコトハ、一方ナラザル混雜ヲ來スノデアリマス、噓モ方便ト申シマスノデ、今日ノヤウナ急場ニハ、營利追求ヲシテ來タ者ニハ營利追求デ働カシテ儲ケサセ、サウシテ生産力擴充ヲ圖リ、且ツ政府ノ稅收入ヲ増シテ行ケバ宜イノデアリマス、大局カラ之ヲ見マスと營利經濟モ窮極スル所、ヤハリ公益經濟ニ歸著スルノデアリマス、蜜蜂ヲ御覽ナサイ、蜜蜂ハ何モ人間ノ公益ノ爲ニ蜜ヲ集メテ居ルノデハアリマセス、併シナガラ彼等ガ集メタ蜜ヲ人間ガ取ツテ利用シテ行ク、何モ蜜蜂ニ公益經濟ノ説明ヲスル必要ハアリマセス（「營利經濟反對」ト呼フ者アリ）私ハ營利追求ニ依レト言フノデハアリマセス、噓モ方便デアレト言フノデアリマス（「資本家ノ代辯者、シツカリヤレ」ト呼フ者アリ）何ヲ言フカ、ドチラガ資本家ノ

代辯者カ

(發言スル者アリ)

○議長(小山松壽君) 私話ヲセヌヤウニ御願致シマス

○高橋壽太郎君(續) 最後ニ一言申添ヘタイコトハ、國防上ノ要求ガアレバ、吾々ハ算盤ヲ離レテモ其ノ産業ハ助長シテ行カナケレバナラヌト云フコトニナリマス、何レ

政府ノ計畫シテ居ラレマス四箇年増産計畫ト云フモノハ、日滿支三國ヲ含ム大計畫デアリマセウ、唯私ガ政府ノ注意ヲ喚起シテ置キタイト思ヒマスコトハ、海ヲ越エテ大量ノ物資ヲヤツタリ取ツタリスルコトヲ、戰時ニモ容易ク行ハレルモノナリト前提シテオヤリニナラナイコトヲ切望スル者デアリマス、此ノ事ハ屢、私ガ申上ゲタノデアリマスカラ、茲ニ繰返スマデモアリマセウガ、私ノ實ニ惧レル所ハ、天ノ一角ニ數十隻ノ潜水艦ヲ浮ベ、數百臺ノ爆撃機ヲ用意シテ、我ガ日滿支ノ交通線ノ要衝タル朝鮮海峽附近ヲ睨ンデ居ルモノガアリハセウカ、此ノ點デアリマス、此處ノ交通線ヲ妨害サレマス、有ニル産業計畫モ蹉跌ヲ生ジハセウカ、此ノ事ニ對シテ政府ノ猛省ヲ促シテ置キタイト存ジマス

以上申シマシタ質問ヲ要約致シマスト次ノ四項ニ相成リマス
一、政府ハ金及ビ銅増産ニ關スル積極的對策ヲ有スルヤ
二、政府ハ金銅鐵以外ノ重要礦物ニ對シ、如何ナル増産計畫ヲ有スルヤ

三、日本鑛山開發會社法案トモ稱スベキモノヲ、政府ハ目下研究中ナリト仄聞ス、政府ハ今議會ニ之ヲ提出スルヤ否ヤ

四、昭和十四年度一般會計ニ於ケル重要礦物増産ニ關係アル豫算ハ、時局ニ對應セザルモノト認ム、政府ハ相當ナル追加豫算ヲ要求スルノ意ナキヤ、以上(拍手)

(國務大臣八田嘉明君登壇)

○國務大臣(八田嘉明君) 只今高橋君ヨリ御尋ニナリマシタル諸點ニ對シテ、御答申上ゲタイト存ジマス、第一ハ金銅ノ増産ニ付テ政府ハ積極對策ヲ執ルベシ、其ノ對策ニ付テハドウデアアルカト云フ御尋デアリマス、銅ハ姑ク措キマシテ、金ニ對シマシテハ既ニ御承知ノ通り、曩ノ議會ニ於テ産金増産ニ關スル所ノ法制ヲ定メマシテ、政府ハ之ニ基キマシテ探鑛ノ獎勵金或ハ製鍊所、選鑛所ノ建設ニ對シマスル補助ヲ行ツテ居リマス、又鑛山開發ニ必要ナル資材ノ供給ニ對シ十分ナル助成ヲ致シ、更ニ又現地ノ技術員ノ養成ニ付キマシテハ、將來ノ必要セラレテ居リマスル其ノ事柄ニ對シマシテ、助成ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、斯様ナ次第デアリマシテ、政府ニ於キマシテハ十四年度ノ豫算ニ於キマシテモ、只今申上ゲタヤウナ増産計畫ニ對シマシテ、必要ナル豫算ヲ計上シテ御協賛ヲ願ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、其ノ以外ニ於キマシテハ、鐵道省等ノ運賃ノ割引等ニ對シマシテモ、十分ナル考慮ヲ拂ツテ居ル

コトハ御承知ノ通りデアリマス、只今豫算ガ甚ダ多クナイト云フコトニ付テ御話ガアリマシタガ、金ニ付キマシテハ、御承知ノ通り昨年十月創立サレマシタル日本産金株式會社ナル國策會社ニ於テ、政府ニ代リマシテ是等ノ必要ナル助成ニ對シテ、責任ヲ以テ仕事ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、マダ其ノ會社ハ創立日淺イ爲ニ十分ナル成績ヲ擧ゲマセスケレドモ、今後ノ増産ニ付キマシテハ、資金ノ融通或ハ製鍊所ノ設置等ニ對シマシテ、専ラ力ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙ホ政府ニ於キマシテハ、産金ニ對シマシテ官民ノ協議會ヲ作リマシテ、只今計畫サレテ居リマス所ノ豫定ノ年次計畫ヲ遂行致シマスコトニ對シテ、萬違算ナキヲ期シテ居ルノデアリマス

之ニ關聯シテ第二ノ御質問致シマシテ、銅ノ増産ニ對シテ、又之ニ關聯シテ金、銅、鐵以外ノ所謂非鐵——銅モ含メマシタル所ノ非鐵金屬ノ開發ニ對シマシテ、御意見ヲ伺ツタノデアリマスケレドモ、御話ノ如ク金ト全ク同ジ價值ヲ有シマス所ノ國產ノ銅ヲ產出スルト云フコトハ、極メテ重要ナル問題デアリマスシ、又鉛、亞鉛其ノ他ノ非鐵金屬ヲ開發スルト云フコトハ、時局柄政府ニ於キマシテモ、洵ニ緊急ノ問題デアルト考ヘマシテ、是ガ開發ニ對シテ對策ヲ研究シテ、既ニ大體ノ成案ハ得テ居ルノデアリマシテ、只今關係省ノ間ニ於テ研究ヲ致シテ居リマスルガ、恐ラクハ不日成案ヲ得マシテ、出來得ル限り早く本議會ニ提案ヲ

致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、是ガ出來マス、曩ニ制定セラレテ居リマス所ノ重要礦物増産法ノ運用ト相俟チマシテ、是等ノ必要トスル所ノ國內ノ資源ノ開發セラレルコトニ於テ、極メテ有效ナル結果ヲ齎スデアラウト信ズルノデアリマス

尙ホ最後ニ、十四年度ノ豫算ニ是等ノ鑛物開發ニ對シテ、政府ノ豫算ガ不十分デアルト云フヤウナ意味ニ於テ、御質問ガアリマシタガ、只今申上ゲタヤウナ計畫ガ成案ヲ得マスル以上、之ニ關聯シテ必要ナル豫算ヲ追加豫算トシテ計上致シマシテ、御協賛ヲ願フ次第デアリマス、此ノ點御承知ヲ願ヒタイト思フノデアリマス(拍手)

(政府委員松村光三君登壇)

○政府委員(松村光三君) 只今商工大臣カラ大體御答辯ガアリマシタガ、特ニ一二ノ點ニ付テ御答ヲ申上ゲタイト思ヒマス、第一第二ノ御質問ニ付テハ既ニ御答辯ガアリマシタノデ、第三ノ豫算ノコトデアリマスカ、今ノ御質疑ニ依リマス、商工省ノ所管ニ於テ僅ニ四百萬圓ダケデアルト云フコトデアリマシタガ、成程商工省所管ニ於キマシテハ、從來ノ如ク四百數十萬圓デアリマスケレドモ、逕信省ノ所管ニ於キマシテ、發送電其ノ他ノ關係ニ於キマシテ、金鑛獎勵ノ施設トシテ百七十萬圓ヲ計上致シテ居リマスカラ、一般會計ニ於キマシテハ合計六百萬圓デアアルノミナラズ、朝鮮其ノ他臺灣等ニ於キマシテ多大ノ産金獎勵施設ヲシテ居リマスカラ、今年度ニ於ケル一般會計並

ニ特別會計ノ產金獎勵ノ合計ハ、二千八百二十餘萬圓ニ相成ツテ居リマス、其ノ他產金會社ノ問題ハ勿論別デアリマス、尙ホ其ノ他各種ノ問題ニ付テ御質疑ガアリマシタガ、大體豫算ノ問題ダケヲ御答申上ゲタ次第デアリマス（拍手）

○議長（小山松壽君） 是ニテ質疑ハ終了致シマシタ、本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○服部崎市君 本案ハ政府提出、昭和十二年法律第五十七號中改正法律案外一件委員ニ併セ付託サレシコトヲ望ミマス

○議長（小山松壽君） 服部君ノ動議ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（小山松壽君） 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第六及第七ハ關聯セル議案デアリマスカラ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（小山松壽君） 御異議ナシト認メマス、日程第六、地方鐵道法中改正法律案、日程第七、軌道法中改正法律案、右兩案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス——鐵道政務次官工藤十三雄君

第六 地方鐵道法中改正法律案（政府提出）

第七 軌道法中改正法律案（政府提出）

第一讀會

地方鐵道法中改正法律案

地方鐵道法中左ノ通改正ス

第六條 削除

第六條ノ二乃至第六條ノ五ヲ削ル

第二十五條 主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキハ地方鐵道業者ニ他ノ陸

上運送事業者ト連絡運輸、直通運輸、運賃協定其ノ他運輸ニ關スル協定ヲ爲

スヘキコトヲ命スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ設備ノ共用又ハ變更、運輸ノ手續、運賃ノ割合、費用ノ

負擔其ノ他ノ事項ニ付協議調ハサルト

キハ申請ニ因リ主務大臣之ヲ裁定ス

第三十一條第一項中「ヲ時價ニ依リテ國

債券面金額ニ換算シタル金額」ヲ削ル同

條第二項中「建設費ヲ時價ニ依リテ國債

券面金額ニ換算シタル金額ニ達セサルト

キハ其ノ換算シタル金額」ヲ「建設費ニ達

セサルトキハ其ノ建設費」ニ改ム

第三十三條第一項中「時價ニ依リテ國債

券面金額ニ換算シ」ヲ削ル

第三十五條 買収代價ハ國債證券ヲ以テ

之ヲ交付スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ

二十五圓未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ

之ヲ額面金額二十五圓トス

前項ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價

格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム

第三十六條ノ二中「ヲ時價ニ依リテ國債

券面金額ニ換算シタル金額」ヲ削ル

第三十六條ノ三第一項中「百分ノ七」ヲ

「百分ノ五」ニ改ム

第三十六條ノ五ヲ削ル

第三十九條第一項第五號及第二項ヲ削ル

附則

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ

之ヲ定ム

昭和九年法律第二十二號ハ之ヲ廢止ス

軌道法中改正法律案

軌道法中左ノ通改正ス

第十九條中「第三十三條ノ二」ヲ「第三

十三條」ニ改ム

第二十一條 軌道會社ノ株金ノ第一回拂

込金額ハ株金ノ十分ノ一迄下ルコトヲ

得但シ地方鐵道會社ニ非サル會社カ兼

業トシテ軌道ヲ敷設スル場合ハ此ノ限

ニ在ラス

第二十五條中「地方長官」ヲ下ニ「又ハ鐵

道局長」ヲ加フ

第二十六條中「第六條ノ二乃至第八條」ヲ

「第七條、第八條」ニ、「第三十六條ノ四

及第三十六條ノ五」ヲ「及第三十六條ノ四」

ニ改ム

第二十九條第一項第五號及第二項ヲ削ル

附則

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ

之ヲ定ム

〔政府委員工藤十三雄君登壇〕

○政府委員（工藤十三雄君） 只今議題トナ

リマシタ地方鐵道法中改正法律案竝ニ軌道

法中改正法律案ノ提出理由ヲ御説明申上ゲ

マス、現在地方鐵道會社及軌道會社ニ對

シマシテハ、株金全額拂込前ニ於テ其ノ資

本ヲ増加シ、又一定ノ期間利益配當ニ關シ、

普通株式ニ劣ル株式、即チ所謂後配株式ヲ發

行シ得ル規定ガ設ケラレテ居ルノデアリマ

スルガ、今回商法ノ改正ニ依リマシテ、一

般ノ株式會社ニ付キマシテモ廣ク同様ナコ

トガ認メラレルコトナリマシタノデ、是

等ニ關スル特別規定ヲ整理致ス必要ガアル

ノデアリマス、又地方鐵道、軌道ノ買収又

ハ補償ノ際交付スベキ買収代價又ハ補償金

ハ、一應五分利附國債證券ヲ以テ交付スル

コトヲ本位ト致シ、更ニ之ヲ時價ニ依

リマシテ五分未滿ノ利附國債證券ニ換

算シテ交付致シテ居ルノデアリマスル

ガ、換算ノ基準トナルベキ五分利附國

債證券ガ、最近殆ど發行サレテ居ラス爲

ニ、現在ニ於テハ其ノ適正ナル時價ヲ定

メ難イ狀態トナツテ居ルノデアリマシテ、

買収又ハ補償ノ實施上、爲ニ支障ヲ生ズル

ニ至リマシタノデ、此ノ際現行ノ如キ換算

方法ヲ改メタイト存ズルノデアリマス、尙

ホ其ノ他ノ規定ニ關シマシテモ、二三修正

ヲ適當トスルモノガゴザイマスノデ、是等

ニ付キマシテモ此ノ機會ニ於キマシテ、併

セテ改正ヲ行ヒタイト存ズルノデアリマス、

以上申述ベマシタ理由ニ依リマシテ、茲ニ

本案ヲ提出致シ次第デアリマス、何卒十

分御審議ノ上御協賛アランコトヲ希望致シ

マス（拍手）

○議長（小山松壽君） 各案ノ審査ヲ付託ス

ベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○服部崎市長 日程第六及び第七ノ兩案ハ、一括シテ議長指名十八名ノ委員ニ付託サレシコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第八、恩給法中改正法律案、第一讀會ヲ開キマス——黑崎法制局長官

第八 恩給法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

恩給法中改正法律案

恩給法中左ノ通改正ス

第三十二條第一項第二號ヲ左ノ如ク改ム

二 戰地外ニ在リテ航空部隊ニ屬シ航空基地ニ於テ特殊ノ職務ニ服シタルトキハ其ノ期間ノ一月ニ付三月

三 前號ニ掲クルモノヲ除クノ外戰地外ニ在リテ職務ニ服シタルトキハ其ノ期間ノ一月ニ付一月半

同條第三項中「地域」ノ下ニ「航空基地及航空基地タル期間」ヲ加フ

第五十九條ニ左ノ一項ヲ加フ

前五項ニ規定スル納金ハ戰時又ハ事變ニ際シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ免除スルコトヲ得

附則

本法ハ昭和十四年五月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第三十二條ノ改正規定ハ昭和十二

年七月七日ヨリ之ヲ適用ス

〔政府委員黑崎定三君登壇〕

○政府委員(黑崎定三君) 只今上程セラレマシタ恩給法中改正法律案ノ提出理由ヲ申述ベマス

本案ヲ以テ改正セントスル點ハ二點アルノデアリマシテ、其ノ第一ハ、現行恩給法ニ依リマス、戰地又ハ事變地ニ於テ、職務ニ服シテ居リマス公務員ニ對シテハ、其ノ恩給在職年限ノ計算ガ、服務期間ノ一月ニ付三月ヲ加算スルコトナリ、又戰地外ニ於キマシテ職務ニ服シテ居ル者ニ對シテハ、一月ニ付一月半ノ加算ヲ爲スコトナツテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り、近代航空技術ノ發達ニ伴ヒマシテ、戰地外ノ航空基地カラスル遠距離作戰ガ、屢、行ハレテ居ルノデアリマシテ、此ノ作戰關係者ノ中デ、戰地ニ行キマス航空機ノ乗員ハ、前述ノ戰地ニ於テ職務ニ服務スル者デアリマスカラ、其ノ在職年ノ加算ハ一月ニ付三月ヲ加算スル割合ニナルノデアリマス、所ガ基地ニ於キマシテ地上勤務ニ服シマスル者ハ、前述ノ一月ニ付一月半ノ戰地外勤務ノ加算シカナイノデアリマス、併シナガラ航空基地ハ常ニ敵ノ攻撃ヲ受クル危險ニ曝サレテ居ルノデアリマシテ、又航空機ノ乗員ト基地ニ於ケル地上勤務員トハ密接不可離ノ關係ニアリマシテ、是ガ一體トナツテ初メテ完全ナ戰鬪力ヲ發揮シ得ルノデアリマスカラ、之ヲ分離シテ別々ニ違ツタ在職年限ノ加算ヲ致シマスノハ不適當デ

アリマスノミナラズ、地上勤務員ノ勞苦、身體能力ノ消耗度ハ、戰地ニ行ツテ職務ニ服シテ居リマスル者ト比較致シマシテ、決シテ劣ルモノデハナイノデアリマスカラ、是等地上勤務員ニ對シマシテモ戰地ニ在ル者ト同様ニ、一月ニ付三月ノ加算ヲ附加スル必要ガアルノデアリマス、是ガ改正ノ第一點デアリマス

第二ニハ、現行法ニ依リマスル下士官以上ノ軍人及ビ其ノ他ノ公務員ハ、總テ俸給ノ百分ノ一又ハ百分ノ二ニ相當スル金額ヲ、毎月國庫ニ納付スル義務ヲ負ツテ居ルノデアリマス、所ガ戰地ニ於キマシテハ、部隊ハ常ニ移動シテ居リマスルシ、隨テ其ノ納金ヲ徴收スル方法ガ甚ダ困難デアリマス、本來複雑ナ所ヘ持ツテ來テ、實行ガ甚ダ困難ニナルノデアリマス、場合ニ依リマシテハ徴收事務ガ不可能ナリト申シテ宜イ場合モ生ズルノデアリマス、ソコデ戰時又ハ事變ニ際シマシテハ、一定限度ニ於テ此ノ納金ノ義務ヲ免除シタイト考ヘマシテ、此ノ趣旨ノ改正ヲ行ヒマスノガ第二點デアリマス

以上ガ本案ヲ以テ改正セントスル内容デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ御協賛アラシコトヲ希望致シマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○服部崎市長 本案ハ政府提出、明治三十五年法律第四十九號中改正法律案委員ニ併

セ付託サレシコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○服部崎市長 殘餘ノ日程ヲ延期シ、本日は是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、次會ノ議事日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日は是ニテ散會致シマス

午後三時十分散會

